



## 知事コラム



# 埼玉ソフトパワーのアニメ、映画

最近、ソフトパワーが注目されています。確かに、軍事力や経済力などのハードパワーが国家間の物事を決定する重要な要因であることは言うまでもありません。

しかし、平時においては、その国の魅力としてのソフトパワーが世界に大きな影響を与えていることも事実です。文化、スポーツの情報発信といってもその影響力は小さくありません。

「文化」には歴史や伝統も入ります。大英帝国が世界の覇権国となった時代、イギリスの金持ちたちはローマやギリシャの歴史を巡る観光に精を出しました。アメリカ人も世界中の歴史的遺産を旅

行しています。日本にしても中国にしても事情は同じです。それほどまでに「文化」には人を魅了する力があります。

今、埼玉県はソフトパワーで新しいイメージを作りつつあります。一つはアニメです。アニメの聖地として埼玉県以上の所はありません。世界一の知名度を誇る「クレヨンしんちゃん」は春日部市が舞台です。

久喜市の鷲宮神社はアニメ「らき☆すた」の聖地となり、正月の参拝客は47万人と県内第2位です。

川越市が舞台設定のモデルとなったアニメ「神様はじめました」も「散策したい歴史ある町並み」ランキングで全国3位の小江戸・川越を盛り上げています。

アニメ「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」通称「あの花」の聖地として、今や秩父

市は若いファンであふれています。

「となりのトトロ」の舞台は狭山丘陵といわれ、新座市には「鉄腕アトム」の手塚プロダクションのスタジオがあります。アニメゆかりの地が多く、まさに埼玉はアニメの聖地です。

また、映画のロケ地や舞台として埼玉県が使われることも多くなりました。

昨年公開された「のぼうの城」は行田市の忍城が舞台です。今年公開された映画「そして父になる」では、寄居町の荒川の河原で撮影された場面がポスターなどにも活用されています。

川口市にある次世代映像産業拠点のSKIPシティでは、オープンセットの大規模な映画の撮影が行われています。吉永小百合さん主演の映画「母べえ」や、映画「20世紀少年」もここで撮影されました。

アニメも映画もソフトパワーの代表格です。埼玉県はある意味で新しい時代の先頭を走り始めたのかも知れません。愉快ですね。

埼玉県知事 上田清司